平成13年１月20日発行　毎月１回発行

財団法人 ベターリビング

better living NEWS

10月は住宅月間

平成13年 1 月号 vol.094

目次

●長年のご愛読に感謝しつつ　「ＢＬ news」新世紀バージョンへ
●優良住宅部品認定基準の変更及び制定
●自由提案型優良住宅部品　「排水再利用・雨水利用システム」の紹介
●筑波建築試験センター　床衝撃音試験施設竣工
●ＢＬホームページのリニューアル計画
●お客様相談室レポート（No.5）平成１２年度上半期の相談受付状況
●システム審査登録センター　ＩＳ０９０００ｓ、ＩＳ０１４００１の登録
●人事異動（国土交通省・ベターリビング）
●BL部品の仕様等の変更
●展示会のご案内　「ユニバーサルデザイン展２００１」

長年のご愛読に感謝しつつ

「ＢＬ news」新世紀バージョンへ

長年ご愛読いただきました「BL news」は、先月号でご案内のとおり本号（Vol.94）をもちまして印刷物からWeb（インターネット）にそのプラットフォームを移し、「BL Web news」として配信することとなりました。

今後は従来の月刊方式ではなく、記事ごとに情報をまとめ、メールを利用した随時配信方式となります。

また、今後はWebのみの配信となりますので、引き続きご購読を希望される方は、ご自分のメールアドレスをご登録のうえ、メールにて受信されますようお願いいたします。登録および記事配信に際しての費用はかかりません。

また、インターネット環境を利用して登録会員へのアンケート等を行い情報交流を深め、ＢＬ業務全体に役立てていきたいと考えています。

会員登録は、ホームページの登録ボタンにより登録画面が表示されますので画面の指示に従ってください。ＢＬホームページ　http://www.blhp.org/

問い合せ先：当財団　情報サービス部　03-5211-0572

優良住宅部品認定基準の変更及び制定

優良住宅部品認定制度の改正に伴う認定基準の見直しを実施し、「エレベーター（高層住宅用エレベーター）」、「タワー型駐車装置」の２品目を平成13年１月10日付で公表・施行しました。

また、暖･冷房システムの「ユニット別基準」として「暖･冷房システム(ファンコンベクタ)」を制定し、同じく平成13年１月10日付で公表・施行しました。各基準の概要は以下のとおりです。

各基準の内容につきましては逐次BLホームページ http://www.blhp.org/nintei/blbuhin/kijun.htmに掲載していきますのでご覧下さい。

問い合せ先：当財団　開発部設備課　03-5211-0964

1 エレベーター（高層住宅用エレベーター）

【認定の対象範囲の変更】

１．旧基準では、共同住宅用として「高層住宅用トラクション方式ロープ式エレベーター」、「中層住宅用巻胴方式ロープ式エレベーター」を認定対象としてきましたが、新たに基準を制定した「マシンルームレス型エレベーター」へ移行することが予想されるため、これまで認定実績のなかった「中層住宅用巻胴方式ロープ式エレベーター」を認定対象からはずすとともに、取替需要の可能性が考えられる「高層住宅用エレベーター」については、基準改定を行ない更新の受け付けを行なうこととしました。また、一方で「マシンルームレス型エレベーター」の登場で需要の少なくなった「中層住宅用油圧式エレベーター」については、新規受付及び次回の更新を見合わせる方針で、認定基準の更新も見送りました。（認定基準は、現行品の認定が平成15年3月末日で切れるため、同日を持って廃止の予定）

【性能試験方法や性能レベルを変更したもの】

２．構成部品を具体的に示すとともに、防犯上有効な措置として、かご戸及び乗り場戸については防犯窓を標準仕様とし、バリエーションとして窓なしのものも供給できるものと変更しました。

３．運転騒音については、製品レベルやエレベーターシャフト廻りの音の透過損失等を勘案し、駆動装置より1m離れた位置において、70dB(A)以下と規定しました。

2 タワー型駐車装置

【品目名の変更】

１．品目名を「住宅用駐車装置（エレベータ式・垂直循環式）」から「タワー型駐車装置」に変更しました。

【性能試験方法や性能レベルを変更したもの】

２．駆動部分と建物等との隙間寸法について、改正前の基準では、「駐車装置の駆動する部分と建物等との隙間は、装置の動作安全上、適切で十分な余裕寸法（４ｃｍ以上）を確保できること」としていましたが、駆動する部分が建物と接しない構造であるため、削除しました。

【新たに基準を設けたもの】

３．入出庫の円滑性について、旧基準では、「能力入出庫作業時間、能力全車入庫時間及び能力全車出庫時間に対する設計が適切であると認められること」としていましたが、これらの時間は、平均駐車時間が短いデパート、スーパーマーケット等の商業用施設や営業用の月極専用施設を想定して考えられたものであるため、これらと比べて平均駐車時間が長い住宅用に適用するのは、やや現実性に欠け適当でないと判断し、新基準では、連続出庫を想定した最遠のパレットからの出庫時間（最大出庫時間）を設定し、３分以内としました。この最大出庫時間とは、32台（M型）の場合についてのものであり、出庫作業時間20秒を含め、最遠の車を出庫させるために必要な時間と定義しています。なお、連続入庫及び連続入出庫の時間を設定していませんが、これは住宅の場合、出庫が集中する時間帯は朝（通勤に車を利用する人）に限られており、入庫が集中する時間帯はないと判断したためです。

４．装置の騒音対策として、旧基準では「策が講じられていること」としていましたが、基準値を設定し、ピーク時において70dB(A)以下としました。ピーク時とは、搬器が所定の位置に停止する際に発生するときであり、搬器の移動中は55dB(A)程度と予想されます。なお、騒音は近隣に影響を及ぼすことが考えられるため、各都道府県の公害防止条例等の法律に十分留意することとしました。

５．対象とする自動車の寸法、重量の実態を考慮し、M型（中型車用）、Ｌ型（大型車用）別に想定する自動車の最大寸法を設定しました。

3 暖･冷房システム(ファンコンベクタ)

１．暖・冷房システム認定基準の中にユニット別基準として「優良住宅部品認定基準（暖・冷房システム／ファンコンベクタ）」を作成しました。

２．今回制定したファンコンベクタは、熱源機より循環供給された熱媒を、ケーシング内のコイルなどで熱交換し、内蔵されたファンを用い強制対流暖房を行う、室内に設置された10kW以下の暖房専用の放熱器を対象としています。

３．認定基準の概要は、「放熱能力」、「吹出し平均風速風量」、「運転騒音」、「通水抵抗」等について性能を要求しています。

自由提案型優良住宅部品

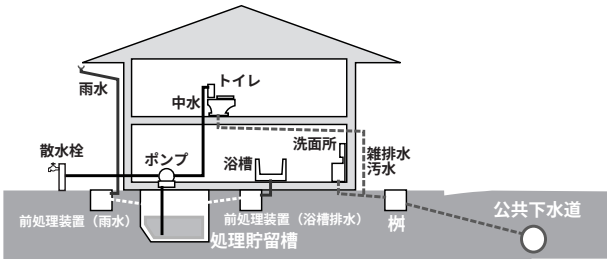
「排水再利用・雨水利用システム」の紹介

この度、平成12年12月27日付けで自由提案型優良住宅部品「排水再利用・雨水利用システム」が認定されました。

水資源をはじめ、省エネ、エコロジカルな生活スタイルが地球規模で求められており、この「排水再利用・雨水利用システム」は、時節にかなう部品として認定されました。戸建住宅の屋外に処理・貯留槽を設置し、浴槽の残り湯や屋根上に降った雨水を処理し、トイレの洗浄水、散水、洗車等に再利用するシステムです。

問い合せ先：当財団　研究企画部　03-5211-0564

品　名	排水再利用・雨水利用システム
認定番号	BLF020005
企業名	ライフテック株式会社
名　称	「りこう槽」
型　式	DII-5,DII-8



部品概要	●省エネ、環境共生に寄与できる部品として、住宅内で利用する雑排水および雨水から中水をつくり出すシステムを持つことにより、上水の使用量を削減することができます。 ●生活雑排水中の有機物、色、濁り、大腸菌等を物理科学的に除去・滅菌する処理能力を持っており、中水の水質基準をクリアしています。
認定のポイント	●処理・貯留槽の耐圧強さが十分であること。 ●マンホールふたは、安全荷重時（5kN）におけるたわみ量が有効内径又は有効内法寸法の0.6%以内で、残留たわみ量が0.2%以内であり、かつ安全荷重の4倍以下で破壊しないこと。 ●最高気温30℃以上の夏期において処理を行った中水の水質検査の結果が下記の判断基準に適合すること。 pH：　5.6～8.6 BOD：　3mg/L以下 COD：　30mg/L以下 濁度：　5度以下 色度：　10度以下 ●逆流防止のため、上水補給機構の負破壊性能試験の水位上昇が75mmを超えないこと。 ●中水の誤飲・誤使用防止のための指示・警告が製品や取扱説明書等に明示されていること。

筑波建築試験センター

床衝撃音試験施設竣工

当財団筑波建築試験センターにおいて、１月16日に床衝撃音試験施設が竣工し供用を開始いたしました。

本試験施設では、住宅品質確保促進法に基づく「住宅性能表示」における音環境に係る特別評価方法認定に対応した測定や床遮音性能の実験を行うことができます。

施設はISO140-8に整合したJIS A 1440に準拠した仕様で、RC造の三室型実験室からなり床スラブ厚はそれぞれ150mm、200mmとなっています。

運用にあたっては、(財)日本建築センターと業務協定を結び、床の遮音性能に係る性能評価試験、研究を協力して行うこととしています。

問い合せ先：当財団　筑波建築試験センター　0298-64-1745

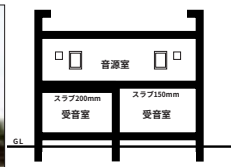
本施設を用いた評価測定項目

①床の遮音性能に係る評価、研究

②住宅品質確保促進法に基づく「住宅性能表示」における音環境に係る特別評価方法認定等のための床遮音性能の測定

③(財)日本建築センターが実施する「新建築技術認定事業」における床遮音仕上げ構造認定のための測定

床衝撃音試験施設



三室型実験室は上階の音源室と、それぞれ150mm、200mmの床スラブを隔てた受音室（１）と受音室（２）で構成される

BLホームページのリニューアル計画

当財団は、平成８年11月末に、ホームページを開設し、様々な情報提供を行っておりますが、このたび、全面的にリニューアルをすることとし、現在、検討作業を行っております。

１．背景

ホームページの開設以来、４年を経過しましたが、ホームページの目的が当初の財団の業務紹介だけでなく、当財団の重要な情報提供ツールと移行してきてまいりました。

このたびＢＬニュースが紙媒体からインターネット・メールによる発信に移行することにより、いよいよ情報提供ツールの中心となることになります。

また、一般家庭においても、インターネットが普及し、ＢＬ部品を利用する方に対して有効なコミュニケーションツールになる環境が整ってきたと考えております。

よって今回、従来、主な読者と想定しておりました、ＢＬ部品認定メーカーの方のみならず、ＢＬ部品を使用しているエンドユーザーにとっても、利用しやすく親しみやすいページを目指しリニューアルを行うことといたします。

２．新ホームページの特徴

・初めて来訪する方でも、各コンテンツへ迷わず入れるように、トップページのデザインレイアウトを一新いたします。

・一般の方、住宅業界・住宅部品業界その他の事業者の方、それぞれのトップページを新設し、それぞれの方が利用するサービス（一般の方にはＢＬ部品の相談事例情報や、住宅の購入に役に立つ情報等。事業者の方には、ＢＬ部品の申請業務に役立つページ等）に、すぐにたどり着けるようにいたします。

・サイトマップを作成し、ホームページの全体像が視覚的に把握できるようにいたします。

一般向けコンテンツ（左）と事業者向けコンテンツ（いずれも案）

・みなさまに、より役立つページを目指し、新たなサービス・コンテンツを作成いたします。

３．検討中・作成中の新コンテンツのご紹介

ａ．ＢＬ　Ｗｅｂ　ｎｅｗｓ（開設済）

既出記事をご参照下さい。

ｂ．ＢＬ部品データベース(3月開設予定)

従来、書籍・ＣＤ－ＲＯＭにより提供していましたＢＬ部品情報を、ホームページで公開いたします。

ｃ．ＢＬお客様相談室（2月開設予定）

現在、電話で受けているＢＬ部品に関する相談応対サービスの向上を図るため、今後は従来の電話応対に加え、メールによる相談受付体制を整備していく予定です。また、よくある質問のＱ＆Ａをホームページに公開することにより、エンドユーザーのみならず、認定メーカーや住宅業界の方々にとっても有益なコンテンツとなるようにします。

ｄ．その他（４月より順次提供予定）

住宅に興味がある方のための情報（例えば、住宅性能表示制度の紹介等）を、コラム形式で逐次提供していきます。

これからも、より多くの方にとって有益な情報源となるよう一層の努力を続けて参ります。

あなたの貴重なご意見をどうぞお寄せください。お待ちしております。

問い合せ先：当財団　情報サービス部　03-5211-0573
E-mail；jyoho@cbl.or.jp

コンテンツ案

■ベターリビングトップページ
フレーム部分
- □トップページ
  - 一般向けコンテンツ／事業者向けコンテンツ／英語バージョン
- □BL事業案内
  - お客様相談室／BLnews／イベント案内／BL(優良住宅)部品認定事業／C.H.S認定事業／優良集合住宅認定事業／筑波建築試験センター／住宅・住宅部品評価センター／システム審査登録センター
- □BL部品データベース
- □サイトマップ
- □BL認定基準
- □図書販売
- □ベターリビング の概要
- □リンク

■一般向けコンテンツ
- □BLお客様相談室
  - BLお客様相談室のご案内／よくある質問と回答集／E-mail質問箱
- □BLnews
  - 最新情報／バックナンバー／Web news会員登録
- □キーワード
  - 住宅の性能表示について／建築基準法について／BL部品って何？／センチュリーハウジングって?／リフォームについて
- □住まいの情報
  - 住まいと健康／部品カタログの読み方／高齢者に優しい住宅とは?
- □TEA　ROOM
  - BLカップ

■事業者向けコンテンツ
- □筑波建築試験センター
  - 基準法防耐火試験／基準法遮音試験／基準法木造壁倍率試験／一般依頼試験／BL試験／工事用材料試験／試験料金表
- □住宅・住宅部品評価センター
  - ISO/IEC　GUIDE65に基づく製品認証業務／優良住宅部品評価業務／建築基準法に基づく評価事業／住宅品質確保法に基づく評価事業／住宅用資機材性能評価・証明事業／C.H.S認定事業／21世紀都市居住緊急促進事業の技術評価
- □システム審査登録センター
  - ISO9000／ISO14000／セミナー案内／認定範囲／登録リスト一覧
- □BLnews
  - 最新情報／バックナンバー／Web news会員登録
- □キーワード
  - 品質確保促進法／建築基準法／BL認定制度とは／センチュリーハウジング／リフォーム
- □申請方法のご案内
  - BL部品の認定申請／基準法関連の申請／品確法関連の申請／試験の申込／ISO関連の申請

お客様相談室レポート（No.5）

平成１２年度上半期の相談受付状況

（1）受付件数の傾向

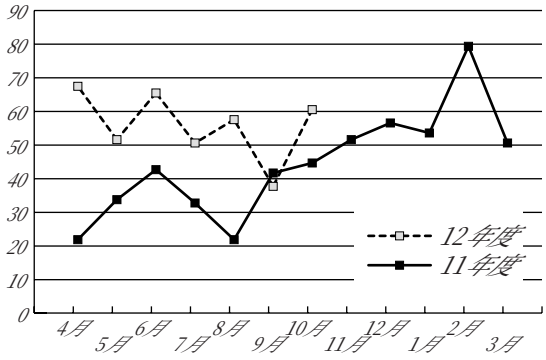


図-1 平成11年度・12年度　月別相談受付件数

平成12年度上半期における相談受付件数は、合計333件（月平均56件）となっており毎月平均して50件程度の相談を受けている。今年度は昨年度同期比（11年度）で170%、対前年度比（12年度上期受付件数／年間受付件数）は既に62%を越えており、平均的に昨年度より上回っている状況である。

（2）相談内容別に見た状況

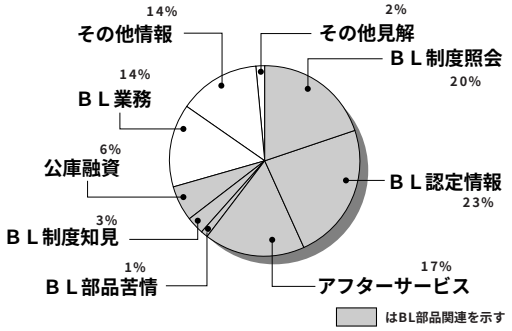


図-2 相談内容別の比率（H12.4～9）

ＢＬ部品に関する相談は全体の70%を占めており、昨年度同期（73%）及び昨年度年間（71%）の比率とほぼ同じ状況であった。但し、個々の相談内容の分類では、アフターサービス及び公庫融資に関する相談において大きな変動が見られた。

アフターサービス相談は、昨年度全体の４%しかなかったものが、この上半期では17%と増加し飛躍的な伸びを示した。これは新しいＢＬマーク証紙によるＰＲの反響によるものと推測される。

また、公庫融資に関する相談にあっては、昨年度同時期で全体の24%だった状況から、昨年度は最終的に15%まで減少、この上半期では更に６%まで減少している。

（3）相談者別に見た状況

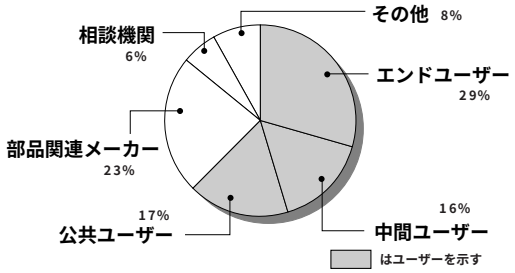


図-3 相談者別の比率（H12.4～9）

エンドユーザーや中間ユーザー等のユーザーからの相談は、全体の61%を占めており、昨年度（56%）より更に増加している。

その中でも、中間ユーザーからの相談は昨年度全体の26%に対し16%と減少しているが、その分エンドユーザーからの相談が全体の29%（昨年度は24%）、公共ユーザーからの相談が17%（昨年度は６%）と増加しており、平均的には増加傾向にある。着実にＢＬお客様相談室の認知度がユーザー市場で高まっている状況が伺える。

（4）相談受付経路別に見た状況

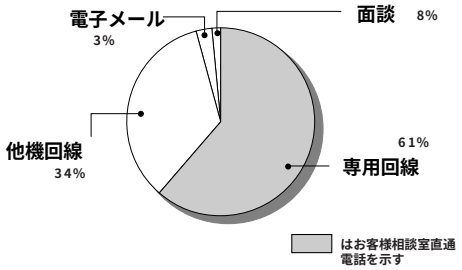


図-4 相談経路別の比率（H12.4～9）

専用回線を通した相談は全体の61%を占めており、昨年度の45%より大幅に増加している。その分他機回線を通した相談は、34%（昨年度49%）と減少している。他機回線から専用回線を活用する相談者が順調に移行されつつあり、ＢＬお客様相談室の認知度が時期を追うことに広まっている状況が伺える。

また、電子メールを活用した相談は、昨年度５%に対し上半期では今のところ３%にとどまっている。なお、現状の相談受付方法の基本は「電話による相談」としている。

システム審査登録センター

ISO9000s、ISO14001の登録

システム審査登録センターは、平成12年12月15日付けで環境マネジメントシステムについて、12月19日付けで、品質システムについて審査の結果、適合と判断し登録しました。

問い合せ先：当財団　システム審査登録センター　03-5211-0609

品質システム登録リスト

登録番号	登録日	適用規格	登録企業の工場または事業所	所在地	適用する製品、プロセス又はサービスの名称
Q233	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	シャープ化学工業株式会社 本社工場	大阪府堺市築港浜寺西町13番地12号	接着剤・シーリング材・防水材の製造
Q234	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	大晃設備株式会社	本社：大阪府大阪市此花区西九条2丁目13番28号 大阪営業所：大阪府大阪市此花区西九条2丁目13番28号 枚方営業所：大阪府枚方市甲斐田東町9番3号 設備部：大阪府大阪市此花区西九条2丁目13番28号	空気調和、衛生設備及びガス設備の施工
Q235	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	伊藤組木材株式会社 ウッドエンジニアリング事業本部　集成材工場	北海道石狩市新港南2丁目725番１	造作用集成材製品の製造及び構造用集成材製品の設計、製造
Q236	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	協和建設工業株式会社 札幌支店	札幌支店：北海道札幌市中央区北10条西21丁目2番5号 函館営業所：北海道函館市東川町13番7号	空気調和、衛生設備の施工
Q237	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	宮十造園土木株式会社	本社：宮城県仙台市青葉区八幡三丁目2番7号 福島出張所：福島県郡山市喜久田町字菖蒲21番34号 岩手出張所：岩手県宮古市泉町1番11号	造園及び土木構造物の設計、施工
Q238	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	株式会社三浦工務店	東京都足立区東和3丁目14番25号	建築物の施工及び付帯サービス
Q239	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	春山建設株式会社 本社及び多摩営業所	本社：東京都渋谷区西原2丁目31番4号 多摩営業所：東京都立川市柴崎町3丁目5番1号－503	建築物の設計及び施工
Q240	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	協和建興株式会社 設備事業部・営業部・設計積算室	東京都渋谷区神南1丁目8番10号	空気調和、衛生設備の施工
Q241	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	渡邊機工株式会社	滋賀県栗太郡栗東町出庭486	産業機械用ステンレス精密板金加工品及び一般板金加工品の製作
Q242	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	野村建設工業株式会社 本店	鹿児島県阿久根市赤瀬川3028番地	一般土木及び港湾工事の施工及び付帯サービス
Q243	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	株式会社首藤バルブ製作所 本社、本社工場及び三重工場	本社：大阪府大阪市天王寺区大道4丁目8番16号 本社工場：大阪府大阪市天王寺区大道4丁目8番16号 三重工場：三重県上野市西明寺字中尾谷2300	船舶・電力・設備用のバルブ及びコックの設計、製造
Q244	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	原田木材株式会社 ランベックスプレカット事業部	熊本県熊本市平山町2985番地1	木造住宅プレカット部材の製造
Q245	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	三英建設株式会社	熊本県八代市大村町639番地	土木構造物の施工及び付帯サービス
Q246	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	株式会社浜畑組 本社及び長島営業所	本社：鹿児島県出水郡東町山門野3589番地 長島営業所：鹿児島県出水郡長島町指江533－4番地	建築物及び土木構造物の施工
Q247	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	株式会社保坂組	本社：新潟県新井市大字上四ツ星274 板倉作業所：新潟県中頸城郡板倉町大字釜塚3111－9	建築物の設計、施工、付帯サービス及び土木構造物の施工、付帯サービス
Q248	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	株式会社東建ジオテック 大阪支店	大阪支店:大阪府堺市宮下町12番19号 神戸事務所:兵庫県神戸市中央区花隈町3番22号 大阪事務所：大阪府大阪市城東区古市3丁目1番1－1008号 滋賀事務所：滋賀県大津市中央1丁目5番12号 奈良事務所：奈良県橿原市白橿町6丁目19番6号	地盤調査業務及び土木コンサルティング業務
Q249	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	国基建設株式会社 土木部門	鹿児島県肝属郡串良町有里3130番地	土木構造物の施工
Q250	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	株式会社 ロータリーコーポレーション	山口県防府市大字浜方11番地8	建築物及び土木構造物の設計、施工並びに付帯サービス
Q251	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	協和建設工業株式会社 仙台支店	宮城県仙台市宮城野区榴岡一丁目7番15－207号	空気調和、衛生設備の施工
Q252	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	株式会社八木建設	鹿児島県鹿屋市古江町630番地	土木構造物の施工及び付帯サービス
Q253	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	株式会社丸ノ内建築事務所	本社：東京都千代田区有楽町1－8－1 大阪支所：大阪府大阪市中央区島町2－4－3 九州支所：熊本県熊本市小島下町695－6	建築設計及び監理業務
Q254	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	豊明建設株式会社	鹿児島県鹿屋市共栄町16番4号	土木構造物及び建築物の設計、施工
Q255	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	協和建設工業株式会社 大阪支店	大阪支店：大阪府大阪市北区天神橋2－3－9 神戸営業所：兵庫県神戸市中央区御幸通4－2－20	空気調和、衛生設備の施工

登録番号	登録日	適用規格	登録企業の工場または事業所	所在地	適用する 製品、プロセス又はサービスの名称
Q256	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	株式会社出水工務店	鹿児島県出水市荘1835番地	土木構造物及び建築物の設計、施工並びに付帯サービス
Q257	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	株式会社アクト	本社：滋賀県彦根市後三条町326番地の6 彦根店：滋賀県彦根市野瀬町138番地15 八日市店：滋賀県八日市市上ノ町1番41	建築物の設計及び施工
Q258	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	田熊建設工業株式会社	熊本県菊池郡菊陽町津久礼36－3	鉄塔・土木構造物の施工及び付帯サービス
Q259	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	株式会社双葉	東京都豊島区目白三丁目14番8号	土地区画整理事業に係るコンサルティング業務及び計画・調査・設計・測量・補償業務
Q260	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	下電開発株式会社	本社：岡山県岡山市野田3丁目16番1号 高松営業所：香川県高松市宮脇町1－3－19	建築物の設計及び施工
Q261	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	株式会社東建ジオテック 松山支店	愛媛県松山市小栗1丁目6番26号	地盤調査・解析業務、建設コンサルティング業務及び斜面防災工事施工
Q262	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	熊本利水工業株式会社 本社及び植木支店	本社：熊本県熊本市大窪4丁目2－4 植木支店：熊本県鹿本郡植木町滴水140－5	管工事業、機械器具設置工事業及びさく井工事業の据付け、施工、付帯サービス
Q263	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	日本テクノ株式会社 本社、奈良支社 及び三重事務所	本社：大阪府大阪市中央区上本町西5丁目2－20 奈良支社：奈良県奈良市二条町3丁目１－１ 三重事務所：三重県名張市桔梗が丘3番町2－68－16	計画、調査、測量及び設計に関するコンサルティング業務
Q264	2000年12月19日	ISO 9002:1994 JIS Z 9902:1998	株式会社キング及び関連会社	(株)キング：宮崎県宮崎市大字本郷南方223－1 (株)キング運輸：宮崎県児湯郡新富町大字上富田3204－1 (株)キングサービス：宮崎県児湯郡新富町大字上富田3204－1 (株)キング商事：宮崎県児湯郡新富町大字上富田3204－1	建設土木機械、器具のレンタル、運搬、修理、販売
Q265	2000年12月19日	ISO 9001:1994 JIS Z 9901:1998	株式会社清香園	埼玉県本庄市3284－2	造園構築物の設計及び施工

環境マネジメントシステム登録リスト

登録番号	登録日	適用規格	登録企業の工場または事業所	所在地	適用する 製品、プロセス又はサービスの名称
E016	2000年12月15日	ISO 14001:1996 JIS Q 14001:1996	御殿場市役所	静岡県御殿場市萩原４８３	御殿場市役所本庁舎、現業棟、西館、水道庁舎、農業研修センターにおける庁舎内の事務・事業の執行における環境管理活動
E017	2000年12月15日	ISO 14001:1996 JIS Q 14001:1996	株式会社姫路環境開発 本社、第一工場及び第二工場	本社：兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067番地17 第一工場：兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067番地17 第二工場：兵庫県姫路市飾磨区中島相生梅2105	産業廃棄物処理業務、一般廃棄物処理業務、リサイクル業務及びこれらに伴う事業活動
E018	2000年12月15日	ISO 14001:1996 JIS Q 14001:1996	株式会社高良	原町第一営業所：福島県原町市上渋佐字原田150－1 原町第二営業所：福島県原町市深野字入龍田117－10 相馬営業所：福島県相馬市新沼字大迎201 いわき営業所：福島県いわき市小名浜大原字東田28番地 米沢営業所：山形県米沢市万世町桑山字上飛行壇2981－12 盛岡営業所：岩手県岩手郡滝沢村滝沢字高屋敷平11－38 仙南地区統括営業所：宮城県岩沼市相の原3－1	再生資源（古紙、鉄スクラップ、非鉄金属屑）の仕入、加工販売及び廃棄物処理

人事異動

国土交通省　住宅局関係（敬称略）

日付	氏名	新官職	旧官職
H13.1.6	成藤　宣昌	住宅政策課企画専門官	住宅生産課建設専門官
〃	伊藤　明子	住宅生産課企画専門官（併）住宅総合整備課	住宅整備課地域住宅計画官
〃	三浦　文敬	都市・地域整備局下水道部下水道企画課長補佐	住宅生産課長補佐
〃	内田　浩平	住宅生産課長補佐	総務庁長官官房交通安全対策室
〃	勝又　賢人	道路局地方道・環境課係長	住宅生産課審査係長
〃	須賀　崇之	住宅政策課政策第一係	住宅生産課総務係
〃	佐藤　恵子	住宅生産課総務係	建設経済局不動産業課監理係

財団法人　ベターリビング

日付	氏名	新役職	旧役職
H13.1.5	加藤　邦彦	辞職（中部地方整備局営繕部官庁施設管理官）	研究企画部次長（兼）研究課長（兼）国際課長
〃	座間　愛知	研究企画部長（兼）研究企画部国際課長	研究企画部長
〃	遠山　明	研究企画部企画課長（兼）研究企画部研究課長	研究企画部企画課長

BL部品の仕様等の変更

変更事項凡例［A：機種バリエーションの追加／B：機種の廃止／C：名称・型式等の変更／D：仕様の変更・その他］

品目（分類）名	企業名	名称・型式	認定番号	承認日	A	B	C	D
サッシ（RC造住宅用サッシ・アルミサッシ）	(株)日本アルミ	NA-BL8B-200、NA-BL8B-280	BAB1096	H12.10.5	○			
	不二サッシ(株)	ＦＲＢ－ⅡＡＴ	BAC1396	H12.11.27	○			
墜落防止手すり	スワン商事(株)	ｽﾜﾝﾚｰｸ　SBT-B型他	TST1896	H12.12.15	○			
	サンリット工営(株)	バルコニー用及び廊下用Ｉ型アルミ手すり	TST3195	H12.12.25	○			
歩行・動作補助手すり	(株)INAX	NKF-210他	TSH0998	H12.11.27	○			
	(株)シンドウ工業	３４φ丸型手すり・４０φ丸型手すり	TSH0597	H12.11.27	○			
	積水樹脂(株)	ｾｷｽｲ ﾕｰﾊﾝﾄﾞ　UHP34　他	TSH0698	H12.12.15	○			
	(株)リラインス	Ｉ型R7808-400,600-800、R7908-400,600,800	TST0398	H12.11.29	○			
浴室ドア	不二サッシ(株)	ＢＬ－ＯＤ（折戸）	NSY0895	H12.11.29	○			
ガス給湯器	リンナイ(株)	RUX-K2400W　他	KT2095-A	H12.10.30	○			○
		RUF-VS2001AW　他	KT2095-B	H12.10.30	○			
	(株)ガスター	HOL-1660AQK　他	KT0196-B	H12.11.30	○			
電気温水器	タカラスタンダード(株)	EM-373KGU-SA-BL　他	EH0896-B	H12.11.30	○			
石油給湯機	タカラスタンダード(株)	FDW-470ASNBL　他	KB0196-B	H12.11.30	○			
暖・冷房システム	(株)ノーリツ	MDP-0909S　他	HS0495-D,DK,DKB,DR,DRK,DRKB	H12.11.15	○		○	
	(株)コロナ	CRB-650BS BL他	HS0596-D,DK,DKB	H12.11.30	○			
	リンナイ(株)	RH-100WN2-6　他	HS0895-D,DK,DKB,DR,DRK,DRKB	H12.12.15	○			
換気ユニット	松下精工(株)	FY-E15MS1L　他	VU1695-V	H12.11.30	○			
	(株)キョーワナスタ	KS-NS150	VU0496-v	H12.11.30	○			
便器	東陶機器(株)	C419TXSBL　他	SW0795	H12.12.15	○			
	(株)ＩＮＡＸ	BC-260P/DT-2870型　他	SW0395	H12.10.27	○			
温水洗浄便座	東陶機器(株)	ウォシュレットアプリコットＣ４	SW0795	H12.10.30	○			
湯水混合水栓	東陶機器(株)	２バルブ式・シングルレバー式・サーモミキシング式	SW0396	H12.12.15				○
配管システム	未来工業(株)	ミライサヤ管ヘッダー工法	HP0296	H12.11.27	○			

お知らせ

展示会のご案内

「ユニバーサルデザイン展2001」

２００１年1月１８日(木)から2月２０日(火)の間、東京西新宿の「リビングデザインセンターＯＺＯＮＥ」におきまして、「ユニバーサルデザイン展２００１」が開催されています。

そもそも「ユニバーサルデザイン」とは、1970年代に米国建築家ロナルド・メイス氏によって提唱され、体格、年齢、障害の度合いにかかわらず誰もが利用できる製品･環境の創造を目指すもので、この展覧会では、住宅やプロダクトを中心に見学者自身が体験したり、比較検討しながら、豊かで快適なユニバーサルデザインのある暮らしを考えるきっかけの場を作ることを目的としています。

当財団も当該展示会の後援団体の一つであり、かつ都市基盤整備公団から当財団への受託研究「高齢者対応の住宅技術の開発研究(その2)」の一環で試作したユニバーサルデザインを考慮したキッチンシステムを第2会場7Fポケットパークの「UD商品開発室」に展示しています(出展者：都市基盤整備公団)。ご来場をお待ちしています。

■日　時：1月18日(木)～2月20日(火)　10：30～18：30
　　水曜日（除く2／7)、2／18(日)休館　　入場無料
■会　場：リビングデザインセンターＯＺＯＮＥ
　　東京都新宿区西新宿3－7－1　新宿パークタワー内
■主　催：東京ガス株式会社
　　リビングデザインセンターＯＺＯＮＥ・ＯＺＯＮＥ情報バンク
■後　援：都市基盤整備公団／日本建築学会／ベターリビングほか
■問合せ先：当財団開発部設備課　０３－５２１１－０５８５

better living
NEWS vol.094

発行年月日　平成13年1月20日
発 行 人　十亀　彬
発 行 所　財団法人ベターリビング
〒102-0084　東京都千代田区二番町4番地5
　　相互二番町ビル3階
TEL　03-5211-0574（事務局ダイヤルイン）
FAX　03-5211-0593
筑波建築試験センター　TEL 0298-64-1745

ホームページ http://www.blhp.org/